

シラバス

授 業 科 目	医薬品化学特論		
(英 文 名)	Advanced Medicinal Chemistry		
担 当 教 員	日比野侗、町支臣成		
単 位 数 (期別)	1 (後)	対 象 学 生	1・2MP

■授業のねらい・概要■

大学4年間で学習してきた有機化学をもとに予測できる医薬品の性質等について講義する。また、医薬品はどのように開発・合成されてくるのか医薬品の分子設計についての講義を行う。

医薬品開発と生産の実際を理解するために、医薬品創製と製造の各プロセスに関する基本的知識を修得し、社会的重要性に目を向ける態度を身につける。

医薬品開発において治験がどのように行われるかを理解するために、治験に関する基本的知識とそれを実施する上で求められる適切な態度を修得する。

■授業(学習)の到達目標■

医薬品の性質を構造式から予測できるようになる。また、その予測した内容について、調べることができるようになる。医薬品の合成法について学習することで医薬品の性質が分かるようになる。

医薬品開発と生産の実際、医薬品創製と製造の各プロセスに関する基本的知識を修得し、説明できるようになる。

医薬品開発において治験がどのように行われるかを説明できるようになる。

■回数ごとの授業内容■

- 1 医薬品とその性質①：加水分解（町支）
- 2 医薬品とその性質②：酸化・還元（町支）
- 3 逆合成解析の考え方・その1：基礎編（町支）
- 4 逆合成解析の考え方・その2：実践編（町支）
- 5 創薬から医薬品開発プロセス（日比野）
- 6 医薬品市場と開発すべき医薬品（日比野）
- 7 医薬品の製造と品質管理（日比野）
- 8 治験における薬剤師の役割（日比野）

■成績評価の方法・基準■

出席調査とレポートにより評価する。

■使用テキスト■

プリント

■参 考 書■

医薬化学（第3版）、日比野 侗、廣川書店

ヘテロ環の化学-医薬品の基礎-、日比野 侗、化学同人